

平成28年度【受託実習】開講実績

■ 研究指導利用の概要

1	【受託実習】多様性生物学演習(東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)	ビョウタケ目の採集に最も適した春に、フィールドから菌類試料を採集し、観察・培養するテクニックを実習により経験する。また、他の菌類も観察する。フィールドとする筑波大学菅平高原実験センターは、これらの菌類の生育に適した環境で、多数の菌を採集する。5月25日-27日に実施。
2	【受託実習】野外生態学実習 I (東邦大学理学部生物学科)	生物多様性は環境や種間相互作用に対する適応進化や遺伝的浮動等による進化現象によって生じると考えられている。そのような生物多様性を野外でのサンプリング調査や動物園などの飼育動物の観察を通して学習し、動物生態学、植物生態学、行動生態学、進化生態学など、生態学全般の知識を深めることを本実習の主目的とする。6月27日-7月1日に実施。
3	【受託実習】キャンプ実習・登山プログラム(日本体育大学)	登山を通じて目的達成への喜びと感動・成功感を得ること、登山を通じて事故と安全等に対する的確な行動力と判断力・適応力を身につけること、登山を通じて素晴らしい自然に触れ、自然と人とのかかわりの中で、生きている喜びを得ること、登山を通じて日常からのストレスを解放とリフレッシュを図ることを目的とする。7月9日-16日に実施。
4	【受託実習】土壌調査法実習(筑波大学生命環境学群生物資源学類)	調査対象地域に分布する森林土壌の生成環境(土壌生成因子)についての理解を深め、土壌断面の観察とその記載に基づく土壌調査法を学習する。この実習を通して、森林生態系における土壌の役割について考える。7月11日-12日に実施。
5	【受託実習】大気科学野外実験(筑波大学生命環境学群地球学類)	大気科学に関する野外巡検・気象観測の基礎を修得する。7月13日-15日に実施。
6	【受託実習】生物学特講(筑波大学教育研究科)	昆虫、植物、菌類についての観察、採集、標本作成などを実施し、自然観察の指導方について実習。8月3日-6日に実施。
7	【受託実習】野外生物学実習(神戸大学発達科学部)	野外での植物・昆虫の調査方法を学び、実際に調査によってデータを取得、それを解析し、自然を把握する能力を身につける。8月5日-7日に実施。
8	【受託実習】野外基礎実習(東邦大学理学部)	東邦大学理学部生物学科1年生対象の「野外基礎実習」であり、昆虫分類学に関する実習を行う。昆虫相豊かな長野県菅平高原にて、昆虫類の採集を行い、その形態の観察とスケッチを通して種の同定を行う。捕虫網を用いることで初心者にも比較的容易である昆虫採集を行うことにより、昆虫の多様な姿を観察し、生物の多様性を自らの眼を通して学ぶ。また、昆虫の分類を行うことで生物分類学の実際を体験する。8月8日-11日に実施。
9	【受託実習】自然環境調査法(福島大学共生システム理工学類)	野外において実際の植物相や動物相(主に昆虫相)の調査を行うことにより、生物の多様性の実際を肌で感じてもらう。また、植生の異なる場所における土壌中の動物調査や植物の垂直分布調査を行うことにより、生物の相互関係や環境との関わりについて理解を深めてもらう。8月22日-26日に実施。
10	【受託実習】野外生物学実習(山梨大学教育人間科学部)	野外における植物・昆虫の記録・捕獲調査方法を学び、調査を行いデータを取得、解析し、自然を把握する能力を身につけることを目標とする。8月29日-9月1日に実施。
11	【受託実習】Environmental Field Appraisal(筑波大学生命環境科学科環境科学専攻)	環境科学専攻所属の大学院生向けの実習(英語で実施)。日本国内の主要なフィールドを訪問し、そのフィールドに関わる自然科学および社会科学に関わる諸問題の理解を目指す。9月20日-21日に実施。

12	【受託実習】生態学実験Ⅱ(千葉大学理学部生物学科)	フィールドワーク、および、そこで得られたデータ解析により、生態学研究の手順を学ぶ。具体的には環境勾配に沿った生物多様性の傾度を実測し、それを統計的に検討する方法について学ぶ。9月20日-22日に実施。
13	【受託実習】Field Exercise in Environmental Ecology (東京首都大学都市環境学部)	フィールド調査法などを学ぶ。都市環境学部によるAIMS学生(留学生)向け実習。10月28日-29日に実施。
14	【受託実習】廣田研・田中研合同セミナー(筑波大学生命環境学群・生命環境科学科)	センター内森林の毎木調査および林内微気象データの回収とセミナー。11月24日-27日に実施。
15	【受託実習】第37回菅平動物学セミナー(福島大学、信州大学、愛媛大学、筑波大学ほか)	昆虫、多足類などの節足動物をはじめとする多様な動物に関する、比較発生、系統分類、生物地理等に関する研究内容をセミナー発表形式で実施する。福島大学共生システム理工学類・共生システム理工学研究科、愛媛大学理学部生物学科で、それぞれ卒業研究Ⅱ・修士研究Ⅱの要件として位置付けられている。12月3日に実施。
16	【受託実習】野外運動論演習Ⅱ雪上実習(筑波大学体育専門学群)	冬季野外運動の代表的種目であるスキーを取り上げ、スキーの動向と課題について学習するとともに、スキー技術と指導法について実習を通して習得する。1月6日-11日に実施。
17	【受託実習】大気科学野外実験A(筑波大学生命環境学群地球学類)	野外での気象・小気候観測およびデータ収集に関する基礎を実習する。施設見学も含む。2月16日-19日に実施。
18	【受託実習】陸域生物学実習、専門実地演習Ⅰ(筑波大学生命環境学群生物学科)	アニマルトラッキング、バードウォッチングや越冬節足動物の観察などを通して、典型的な中部山岳地帯の積雪期における動物を中心とした生物の生き様に触れ、生物に対する実物に即した認識を深める。筑波大学生物学類の授業科目としても実施するとともに、学部レベルの交換留学生を対象とする。3月6日-10日に実施。